

## 令和3年度第2回健康ちば地域・職域連携推進協議会 議事録

- 1 日 時 令和4年2月4日（金） 午後2時から3時40分
- 2 場 所 各所属（ZoomによるWeb会議）  
主会場：千葉県庁南庁舎7階打合せ室
- 3 出席者等 委員17名、関係課職員12名、オブザーバー15名、事務局5名  
計49名

### 4 議 題

#### (1) 報告事項

- ①健康ちば21（第2次）評価指標の進捗状況について
- ②令和3年度共同保健事業の実施報告について
- ③令和3年度保健所圏地域・職域連携推進事業の実施報告について

#### (2) 協議事項

元気ちば！健康チャレンジ事業の協賛店拡大に向けた連携について

#### (3) その他

### 5 結果概要

#### (1) 報告事項

##### ①健康ちば21（第2次）評価指標の進捗状況について

###### ○会長

報告事項の1つ目、健康ちば21（第2次）評価指標の進捗状況について、事務局から説明をお願いしたい。

##### 【事務局より資料1-1、資料1-2に基づき説明】

###### ○会長

ただ今、事務局から説明があった件について、何かご質問等はあるか。

総合目標の「健康寿命の延伸」、「健康格差の縮小」においても良くなっている。全体的には改善できているとの報告であったが、各指標では、ところどころ悪化傾向がみられる。関係する委員の先生に確認したい。例えば栄養・食生活の「利用者に応じた食事の計画、調理、及び栄養の評価改善を実施している特定給食施設の割合の増加」が策定時よりも下がっているが、栄養士会から何かあればご発言いただきたい。

###### ○委員

実際に特定給食施設の数がどのように変化しているか直接は把握していないが、もしかしたら主になるサテライトの施設との統廃合により多少減っているのではないかと思われた。具体的な数字は把握していないため、健康づくり支援課の方がわかるかもしれない。

○会長

コロナの影響はあるか。

○委員

給食施設については、コロナの影響ではないと思われる。

○会長

歯と口腔の健康の分野にも、悪化傾向があるが、歯科医師会から何かご発言はあるか。

○委員

ここにあるむし歯の方はかなり良くなっている。むし歯の方は単純に予防できるというのがあるが、歯周病に関しては、かなりいろいろなものが関係することと、コロナもあって、その前からの定期的な受診やクリーニングができなくなっていることに起因するのではないか。

○会長

歯科も含めて、健診に行くという予防行動の頻度が減っていると言われているため、そういうことが関係しているのかもしれない。

○委員

悪化傾向にある項目の対応策について教えていただきたい。

○事務局

栄養・食生活で悪化傾向がみられる「利用者に応じた食事の計画、調理、及び栄養の評価改善を実施している特定給食施設の割合の増加」については、当課で考えられる要因として、幼稚園や大学等の系列を持つ施設の本部等に栄養士・管理栄養士を配置しているという場合や事業所においては外部委託している場合があるといったことで、割合として減っているのではないかと考えている。必ずしも利用者に応じた食事の計画・栄養評価がされていないということではないが、施設ごとの特性もあることから、巡回指導等を通して、利用者に応じた食事提供・評価ができるように働きかけていきたい。

身体活動・運動については、「ウォーキングロード、地域独自の体操等を紹介している市町村数の増加」が悪化傾向となっているが、引き続き、市町村に働きかけていきたいと考えている。

次の歯・口腔の健康の歯周炎についても、歯科医師会等関係機関と連携して、健診等の周知啓発に努めていきたい。

○委員

歯周病の特性として、歯石がつくと自分では取れないということと、ポケットがあると、ポケットを自分では管理できないという大きな面がある。特に歯周病に関しては、セルフケアでは十分な予防措置や治療はできないため、定期的な管理とクリーニング

が必要とご認識いただきたい。

○事務局

次の次世代の健康づくりの「肥満傾向にある子どもの割合の減少」及び「学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っている子どもの割合」について、悪化傾向となっている。こちらの調査は令和3年度の新しい数値で、コロナ禍の影響も出ている可能性があることが国の調査結果からでていているところである。

○県関係課

肥満傾向については、平成30年度、令和元年度は、さほど変わらない。しかしながら、令和2年度については、コロナの一斉休校等による運動不足のためか、2～3%位肥満傾向の出現率がある。

○事務局

次の「月～金の間1日にどれくらいの時間テレビゲームをしますか」について、数値が増加し、悪化傾向にあるが、こちらについては、ご家庭でのルールづくり等を働きかけていく必要があると考えている。

次の循環器疾患の「脂質異常症の減少」及び「メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合の減少」について、悪化傾向がみられているが、いわゆる生活習慣病、メタボリックシンドロームに該当する部分かと思われるので、特定健診・特定保健指導の市町村と連携し、充実を図っていきたい。当課の取組としては、周知啓発と特定健診・特定保健指導に従事する方の人材育成に努めていきたい。

(1) 報告事項

②令和3年度共同保健事業の実施報告について

○会長

続いて、報告事項の2つ目、令和3年度共同保健事業の実施報告について、事務局から説明をお願いしたい。

**【事務局より資料2-1、資料2-2に基づき説明】**

○会長

ただ今、事務局から説明があった件について、何かご質問等はあるか。

本事業は、令和2年度は12市町、3年度は11市町村と連携し参加しているが、将来的には、54市町村全部で行いたいということか。

○事務局

54市町村と連携して、本事業を進めていきたいと考えている。

○会長

連携市町村も増えてきているが、このような事業をコロナ禍で着実に進めていくの

は難しく、重要なことだとも思う。コロナ禍でも市町村に連携を進めていくのに、何か努力されたことはあるか。

○事務局

コロナ禍でなかなか検討が進まないといった話も聞かれているが、県としては市町村がいつでも始められるように、情報提供をしているところである。市町村説明会において現在既に連携している市町村の取組を紹介していただいたり、ちばチャレ通信で連携市町村の取組や協賛店の情報を発信したりと、年間を通して働きかけを行っている。

○会長

是非、好事例があったら提供する等、勧めていっていただけたらと思う。

(1) 報告事項

③令和3年度保健所圏地域・職域連携推進事業の実施報告について

○会長

続いて、報告事項の3つ目、令和3年度保健所圏地域・職域連携推進事業の実施報告について、事務局から説明をお願いしたい。

**【事務局より資料3-1、資料3-2に基づき説明】**

○会長

ただ今、事務局から説明があった件について、何かご質問等はあるか。

特徴として、各保健所において時代に即した形で、ITを活用した啓発動画、オンデマンド講座、オンラインフィットネステスト及びインターネットを利用した調査等を行っている。こういったものを使って、情報を発信していただいております、とても良いことだと思っている。

(2) 協議事項

元気ちば！健康チャレンジ事業の協賛店拡大に向けた連携について

○会長

本日の協議事項、元気ちば！健康チャレンジ事業の協賛店拡大に向けた連携について、事務局から説明をお願いしたい。

**【事務局より資料4に基づき説明】**

○会長

ただ今、事務局から説明があった件について、特に協賛店獲得が課題とのことだったが、周知方法や周知先などについて、何かご意見等はあるか。

協賛店に関係する団体の委員から何かご発言等はあるか。

○委員

本件に関しては、周知協力依頼があった都度、県内に21ある商工会議所へ、県連から連絡し、それぞれの商工会議所にいる県内約45,000の会員へ向けて周知徹底するようにしている。

○委員

県内に40箇所の商工会があるので、各商工会の方へ、資料を提供いただく都度、案内をしている。各商工会の方でも、定期的に会員向け周知広報等しているのでは、何とか協力店獲得に繋がればということで、取り組んでいる。

○委員

健康な職場づくり宣言というところでは協力をさせていただいている。また、共同事業において、協会けんぽの健診データの提供等、協力させていただいているが、今後、広報の面で、もし必要であれば、元気ちば！健康チャレンジ事業の協賛店の拡大に向けて協力させていただきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

○委員

市民と近い市町村からのアナウンスが大切と思われる。身近な先からのアナウンスだと目に留まる確率も高くなると思われる。

○事務局

市町村の広報に載せていただいたり、市内でいろいろなところにポスターを貼っていただいた市町村で、自治会の役員さんが目にして、自分たちの自治会でも取り組みたいといった声があり、口コミで広がったという事例も聞いている。市町村でアナウンスいただける方法を県でも吸い上げて、市町村に事例として紹介する等、一緒に市町村の皆様と取り組んでいきたい。

○会長

本協議会にも県民を代表して出席いただいている委員の皆様がおられるので、利用者の立場から簡単にコメントいただきたいと思うが、いかがか。

○委員

今後は県民へ周知をしていただくことと、企業側も協賛店募集の周知をしてもなかなか参加しない、できない等の事情があると思われるので、企業側のメリットも含めて考えていくとよいのではないかと。また、カードの電子化導入というのがあったが、今後はSNSやアプリ等も含めて、カードだといろいろな企業が作っていて、埋もれてしまうこともあると思うので、その辺りも精査しながら周知方法を考えていただくとよいと感じた。

○委員

私たちの会は、広く市民の皆様にお知らせするという方法で、会報やメールを配信するなどしているのですが、そういった中に上手く取り込んでお知らせできればよいと思った。やはりこの情報を知らないという人たちがかなりいると思われるので、小さい会ではあるが、そのような形で啓発活動ができればよい。

○委員

本協議会にセミナーや講演などを依頼することは可能か。例えば、PTA連絡協議会には、県内約30万人の会員がいる。今はコロナでなかなかできないところもあるが、各市町村で研修会等を開催している地域もたくさんある。そのような中で、本協議会の取組を紹介するようなセミナー等を開催することによって、県の取組をお知らせすることも可能だと思うが、そのようなことはできるか。

○事務局

県としても、そのような機会があることは大変ありがたいことである。ただ、担当職員が少ないという事情もあり、行かせていただける範囲でということになってしまうが、今後、是非個別にご相談させていただきたい。

○委員

もし、資料があれば、広くそのような方向からも周知ができるので、いただけるとありがたい。

○事務局

こちらとしても大変ありがたいことである。PTAの方々は、丁度働き盛り世代であり、是非健康づくりに取り組んでいただきたい世代のため、資料等を提供させていただくので、よろしくお願ひしたい。

○会長

本協議会は委員が22名おり、その方たちにもいろいろな広報用の資料というのを、今は送っていないと思うが、送っていただくといい。

○委員

この事業には、自分の市町村が実施していることが必要だと思うので、ノウハウを作って、市町村に広報するといった取り組みはできないか。

○事務局

今、県の方では「ち〜バリュ〜モデル」と呼んでいるが、このようなメニューに取り組むと何ポイント獲得でき、達成するとカードを申請できるという、モデルとしての申請台紙を作って市町村に周知している。それにより、一から考えるのではなく、このような形でできますよというものを示してはいるが、他にどのようなことができるか検

討していきたい。

○会長

いろいろと貴重なご意見をいただいた。いただいた意見を参考に、効果的な事業を進めていっていただきたい。

(3) その他

○事務局

次年度の本協議会の委員就任について、現委員の皆様には、要綱の時限に合わせ、令和5年3月31日まで継続をお願いしているところであり、次年度も引き続きお願いしたい。なお、異動等により、委員の変更が必要な場合は後任の方をご推薦いただきたいため、よろしくをお願いしたい。

○会長

活発なご意見、ご協議をいただきありがとうございました。

お蔭様で、本日の議事は全て終了いたしました。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。これで、議長としての役を終わらせていただきます。